

令和 8 年 第 6 回

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

令和8年6月8日

令和8年第6回教育委員会定例会会議録

令和8年6月8日（月）

出席者（5名）

教育長 松 永 透
委員 松 原 拓 郎
委員 三 瓶 恭 子

委員 須 藤 金 一
委員 野 村 幸 史

欠席者（0名）

出席説明員

教育部長 高 松 真 也

総務課施設・教育センター担当課長
村 部 修 弘

学務課学務担当課長
植 竹 佑 樹
指導課長 馬 場 章 夫

指導課統括指導主事、地域学校協働
課統括指導主事 矢 澤 理 恵
地域学校協働課学校3部制推進担当
課長 駒 田 圭 佑
三鷹市立三鷹駅前図書館担当課長
鷹 林 勝

教育部参事（スポーツと文化部生涯
学習課長） 八 木 隆

事務局職員

副参事 青 木 涼 子

教育部調整担当部長、総務課長
寺 田 真理子
学務課長 久保田 実

学務課総合教育相談担当課長
香 川 稚 子
指導課教育施策担当課長、学務課教
育支援担当課長 星 野 正 人
地域学校協働課長
越 政 樹
三鷹市立三鷹図書館長

立 仙 由紀子
教育部理事（スポーツと文化部調整
担当部長、スポーツと文化部芸術文
化課長） 平 山 寛
教育部参事（スポーツと文化部スポ
ーツ推進課長） 市 橋 宗 明

主 事 野 口 耀 羽

令和 8 年第 6 回教育委員会定例会
議 事 日 程

令和 8 年 6 月 8 日（月）午後 2 時開議

- 日程第 1 議案第 1 4 号 保冷剤付き背当てパッドの買入れの申出に係る臨時代理の承認
について
- 日程第 2 議案第 1 5 号 三鷹市立図書館協議会委員の任命について
- 日程第 3 議案第 1 6 号 三鷹市社会教育委員の委嘱について
- 日程第 4 教育長報告

午後 2時00分 開会

○松永教育長 ただいまから令和8年第6回教育委員会定例会を開会いたします。
本日の会議録の署名委員は、松原委員にお願いいたします。
それでは、議事日程に従いまして、議事を進めてまいります。

日程第1 議案第14号 保冷剤付き背当てパッドの買入れの申出に係る臨時代理の承認について

○松永教育長 日程第1 議案第14号を議題といたします。
（書記朗読）

○松永教育長 提案理由の説明をお願いいたします。
では、植竹課長、お願いします。

○植竹学務課学務担当課長 議案第14号 保冷剤付き背当てパッドの買入れの申出に係る臨時代理の承認についてご説明させていただきます。

本冊5ページをごらんください。こちらの議案は、保冷剤付き背当てパッドの買入れについて、6月9日から開催されます第2回三鷹市議会定例会に議案を提出するに当たり、教育長において臨時に代理しましたので、教育委員会に承認を求めるものでございます。

内容でございますが、本冊7ページをごらんください。こちらは熱中症対策を推進し、市立小学校児童の通学時の身体的負担の軽減や熱中症の予防を図ることを目的とし、保冷剤付き背当てパッド9,246個を買い入れるものでございます。

こちらの買入れについて、資料の3に記載のとおり、制限付一般競争入札を5月18日に実施した結果、入札参加者のうち、最低価格を提示した者との契約締結を行うものであり、買入れ価格は2,165万3,207円です。

買入れの相手方は、東京都三鷹市上連雀八丁目4番15号、城西リコピー株式会社でございます。

契約の履行期間は、契約確定日の翌日から令和8年7月31日まででございます。

8ページをごらんください。本手続等の参考法令といたしまして、三鷹市の条例の抜粋を掲載しております。議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条において、議会の議決に付さなければならない財産の取得は、予定価格2,000万円以上の動産の買入れと定めております。

今回の保冷剤付き背当てパッドの買入れについては、買入れ価格がこの規定に該当いたしますので、市議会の議案とする必要があるというものになります。また、臨時代理に関する規則も掲載しておりますので、併せてご確認いただければと思います。

説明は以上でございます。

○松永教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

須藤委員、お願いします。

○須藤委員 この保冷剤付き背当てパッドの買入れに関しては、全くもって異論はあり

ません。この運用についてちょっとお聞きしたいんですが、私も外で働く農業者なので、近年の暑さは異常だと思っていますし、私たちもいろいろ工夫しながらやっているんですけど、そういった中でこの保冷剤、行きは家で冷やして入れると思うのですが、帰りの分というのは、実際、学校で冷やしておくみたいな、そういったような運用ができるのでしょうか。

○松永教育長 植竹課長。

○植竹学務課学務担当課長 保冷剤付き背当てパッドの保冷剤の部分は取り外し可能なので、取り外した保冷剤を学校で冷やすため、各教室に冷凍庫を設置するように準備を進めているところでございます。

以上でございます。

○須藤委員 そうですか。分かりました。

○松永教育長 ほかにいかがですか。

○野村委員 よろしいですか。

○松永教育長 野村委員、お願いします。

○野村委員 須藤委員と同じ運用のことなんですけれども、いわゆる熱中症、どこを冷やすと一番効果があるかということも恐らく検討はされたと思いますけれども、背中や胸もかなりいいんだろうと思いますけれども、通常、首の後ろの風門と呼ばれている部分のところが一番面積が少なくても効果があるし、恐らく直射日光に当たらないようにするという、そういう防止のところも重要だと思うんですけれども、背当てパッドがいいというのはどのような経緯というか、これ以外の選択肢というのは基本的にはない中でこれが望ましいと考えられたのか、その経緯をちょっと確認させてもらえればと思います。

○松永教育長 植竹課長、お願いします。

○植竹学務課学務担当課長 本保冷剤付き背当てパッドの導入につきましては、先行事例が2例ほどございまして、具体的に申しますと、兵庫県たつの市、また、静岡県焼津市でこちらの背当てパッドを導入しておりまして、その中で、ランドセル向きに開発されたものではあるんですけれども、実際リュックサック等でも使えたりですとか、非常に涼しくて気持ちいいという児童の声を先行事例として聞きましたので、まずこちらの導入を検討させていただいたという次第でございます。

以上でございます。

○野村委員 使い勝手は恐らくいいんでしょうね。どの人たちも同じ使い方に多分これになるのだらうとは思いますが、ちょっと今、そんなことが気になったというよりも、どちらがより費用対効果があるのかなと感じたものですから、質問させていただきました。

以上です。

○松永教育長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ほかにご質問、ご意見等がなければ採決いたします。

議案第14号 保冷剤付き背当てパッドの買入れの申出に係る臨時代理の承認について

は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○松永教育長 ご異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第15号 三鷹市立図書館協議会委員の任命について

○松永教育長 日程第2 議案第15号を議題といたします。

(書記朗読)

○松永教育長 提案理由の説明をお願いいたします。

立仙図書館長。

○立仙三鷹図書館長 議案第15号、11ページをごらんください。三鷹市立図書館協議会委員の任命についてでございます。

本協議会は2年間を任期として任命させていただく図書館長の諮問機関でございます。現在、第23期の途中ですが、委員選出母体の組織の人事異動がございましたので、お二人、新たに候補者を任命する形になっております。

任期は、第23期の満了の令和9年6月30日までです。

候補者につきましては、まずお一人目、学校教育の関係者、蔵野貴通さん。続きまして、家庭教育の向上に資する活動を行う方、野上麻千子さんになります。

12ページには図書館協議会委員の委員名簿全体をお示ししております。継続の委員さんとともにご活躍をしていただく予定でございます。

13ページに関係法令等、抜粋がございますのでご参照ください。

説明は以上でございます。

○松永教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

三瓶委員、お願いします。

○三瓶委員 任期2年ということなんですけれども、この名簿を見ると何期も連続でされている方がいて、これは特に最大何期までとか、そういったところの縛りはないんですね。

○松永教育長 立仙三鷹図書館長。

○立仙三鷹図書館長 特に何期までといった縛りはございませんが、同じ方が長くならないように選出母体で調整をさせていただいたり、ご相談をさせていただいております。

○三瓶委員 長く務めているから悪いとかそういうことは全然なくて、何期の人もいろいろ混ざっているのはいいなとちょっと思ったもので、特にそこら辺の決まりがないのだったら、新しい人、古い人、混ざっているのはいいことなのかなと思いました。

○松永教育長 ありがとうございます。ほかいかがですか。よろしいでしょうか。

ほかにご質問、ご意見等がなければ採決いたします。

議案第15号 三鷹市立図書館協議会委員の任命については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○松永教育長 ご異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第16号 三鷹市社会教育委員の委嘱について

○松永教育長 続いて、日程第3 議案第16号を議題といたします。

(書記朗読)

○松永教育長 提案理由の説明をお願いいたします。

では、八木課長、お願いします。

○八木教育部参事 私からは議案第16号 三鷹市社会教育委員の委嘱についてご説明いたします。

この議案は、社会教育委員について関係機関等から推薦する委員候補者の変更について連絡があったことにより、後任委員の委嘱についてお諮りするものでございます。

資料の17ページをごらんください。今回対象となる候補者は3人となります。各推薦母体における役割分担の変更などに伴い、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構の事務局長として西澤俊さん、三鷹市立中学校長会から宮城洋之さん、三鷹市公立学校PTA連合会の副会長として井戸さとみさんを候補者とするものでございます。

委嘱年月日は、6月23日です。

任期は、前任者の残任期間の令和9年6月19日までとしております。

資料の18ページ、19ページになりますが、全体の委員名簿となっております。

また、資料の20ページと21ページになりますが、参考法令を記載しておりますので、ご参照いただければと存じます。

この社会教育委員については、市長の附属機関として平成29年度に設置した生涯学習審議会委員と兼務することとしておりまして、社会教育を含む生涯学習に関し、一体的な審議と効果的な運営を図るため、参考法令にも掲載のとおり、同審議会と同様の定数、選出区分となっております。

次回の生涯学習審議会・社会教育委員会議につきまして、6月23日の開催を予定していることから、今回の社会教育委員の委嘱年月日についても6月23日としておりまして、同日付けで生涯学習審議会委員の委嘱を受けることを予定しているところでございます。

説明は以上でございます。

○松永教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

これ、資料の誤りが1か所あるかなと思っているんですけども、17ページの井戸さとみさんの出生年が19ページと違っているところがあって、1か所修正が必要なのではないかと思っています。

○三瓶委員 学校教育関係者のところの委員の藤橋さんも、連雀学園でなくおおさわ学園のスクール・コミュニティ推進員かなと思います。

○八木教育部参事 申し訳ございません。修正いたします。

○松永教育長 そのほかのご質問、ご意見等いただければと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。

ほかにご質問、ご意見等がなければ採決いたします。

議案第16号 三鷹市社会教育委員の委嘱について、一部文言の修正等があるということを確認していただいた上で、可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○松永教育長 ご異議なしと認めます。本件は、修正を含めて可決されました。

日程第4 教育長報告

○松永教育長 引き続き、日程第4、教育長報告に入ります。

では、寺田部長、お願いいたします。

○寺田教育部調整担当部長 それでは、総務課から順次報告させていただきます。

総務課、資料24ページからになります。

24ページ、実績では、5月7日から8日に関東地区都市教育長協議会が群馬県高崎市で、5月14日から15日は、全国都市教育長協議会が高知県高知市で開催されました。松永教育長が出席されました。

そして5月18日には、東京都市教育長会が東京自治会館で開催され、こちらも松永教育長が出席されました。

5月21日の市議会文教委員会では、行政報告として大学等進学応援金の支給と学校図書館の地域開放の拡充、そして移動図書館ひまわり号の夏季熱中症対策について報告をいたしました。

そして、同じく5月21日に教育に関する事務の点検・評価に係る学識者との懇談会を開催しました。学識者につきましては、昨年度と同様、元玉川大学の柳瀬泰先生と東京学芸大学の柴田彩千子先生のお二人にご協力をお願いしております。

そして、5月22日には、東京都市町村教育委員会連合会の定期総会が府中市で開催され、須藤委員と三瓶委員に出席していただきました。ありがとうございました。

また、5月24日は三鷹市川上郷自然の村がある川上村で山菜まつりがあり、松永教育長が出席されました。

続いて、次のページ、25ページの予定等報告です。記載が漏れてしまっており大変申し訳ありません。6月9日から6月30日までの会期で、令和8年第2回市議会定例会が開催されます。

そして、市議会の6月の文教委員会につきましては、日程はまだ確定しておらず空欄としておりますが、6月の3週目に文教委員会を開催する予定となっております。そこでの行政報告の案件は、令和8年度の教育部の方針と重点管理事業、そして本日この後、担当課からご報告いたします令和7年度三鷹市立小・中一貫教育校評価・検証報告と学童保育所の入所状況を報告する予定としております。

そして6月24日には、今年度第1回目の教育委員会の学校訪問として、第六小学校の訪問を予定しておりますので、よろしくお願いします。

私からの報告は以上です。

○松永教育長 続きまして、教育センター・施設係、村部課長、お願いします。

○村部総務課施設・教育センター担当課長 教育センター・施設係の関係についてご説明いたします。

26ページ、27ページをお開きください。

施設係関係では、中原小学校建替事業、その下の設計、工事を含め、26ページ実績、27ページ予定とも、第5回教育委員会教育長報告の予定等報告と同じ内容となりますが、記載の中で、(2) 工事・監督の1項目にあります、第四小学校の大規模改修工事につきましては、5月21日に入札が行われる予定でしたが、応札業者がおらず入札不成立となりました。現在、再発注に向けて、手続きを公共施設課など関係部署と調整を進めているところでございます。

次に、教育センター事業といたしまして、27ページの予定等報告をごらんください。

教科書展示会につきましては、今年度は採択替えがありませんので法定展示のみ、6月16日火曜日から7月3日金曜日までの平日14日間の日程で実施いたします。時間は、いずれも午前9時から午後5時まで、会場は、教育センター3階、第三中研修室の予定でございます。

また、その下、科学発明教室につきましては、今年度の募集方法は、1カリキュラム4クラスの定員40名、合計160名募集いたします。全2回のテーマを1つのカリキュラムとして、カリキュラムは6月から7月にかけて開催する前期A、B、C、Dクラスと、7月から9月にかけて開催する後期E、F、G、Hクラスの2カリキュラムを企画しております。希望される方は2つのカリキュラム両方に申し込むことができます。各クラスの募集を5月19日火曜日より先着順でかけているところでございます。6月21日日曜日及び7月5日日曜日に前期カリキュラムの1回目の4クラスが教育センター2階、理科室で開催される予定でございます。

私からは以上となります。

○松永教育長 では、学務課、久保田課長。

○久保田学務課長 資料の28ページと29ページをごらんください。

28ページ、実績等報告でございます。

5月29日に給食物資内容説明会を開催し、栄養士が今年度新たに学校給食で使用する物資の選定を行いました。

6月3日、武蔵野市と合同で結核対策検討会を開催予定としていましたが、武蔵野市、三鷹市ともに対象者がいなかったことから、検討会を中止といたしました。

続きまして、29ページ、行事予定等の報告です。

6月8日に三鷹産農産物目合わせ会を開催いたします。市内生産者の方と学校栄養士、農業委員会、学務課が一堂に会し、市内で収穫された農産物の実物を見ながら、規格や納品方法等の協議を行います。

6月26日、学校保健会総会及び講演会を開催いたします。令和7年度の事業報告や令和8年度事業計画の協議・承認を行うとともに、総会后、口腔歯科をご専門とされる昭和医科大学歯学部の内海明美先生による「学齢期の口腔機能発達を促すために」をテーマとした講演会を実施いたします。

6月30日から7月8日にかけて、市内全校にて三鷹産野菜の日として、三鷹産野菜を使用したカレーを提供いたします。

同じく6月30日から7月8日にかけて、学校給食一食まるごと放射性物質検査を13校で実施いたします。残りの9校につきましては、2学期での検査を予定しているところでございます。

その他報告事項は記載のとおりです。

○松永教育長 では、続きまして、総合教育相談室、香川課長、お願いします。

○香川学務課総合教育相談担当課長 私からは、30ページ、31ページの報告をさせていただきます。

30ページ、教育長報告です。

こちらは5月15日と6月2日に教育支援コーディネーターの連絡協議会を実施しました。校内における教育支援について、総合教育相談室の事業を説明するとともに、通級相談、就学相談が円滑に進むよう説明を行いました。

そして21日、教育支援研修会として、今年度取組を始めた通常の学級における対応の基礎として研修会を実施いたしました。

27日水曜日です。長期欠席・不登校状況にある児童・生徒の保護者の集い第1回目を開催し、文化学習協同ネットワークの佐藤真一郎氏による「社会的自立を見据えた学びをめざして」ということでご講演いただきました。

31ページをごらんください。

6月9日と6月25日に教育支援校長研修、副校長研修会を実施します。国立成育医療研究センター医師の梅澤明弘氏による研修を予定しております。

あとは記載のとおりになります。

以上です。

○松永教育長 続きまして、指導課、馬場課長、お願いします。

○馬場指導課長 32ページ、33ページをお開きください。

32ページ、実績報告です。

5月18日、第二小学校が川上郷自然の村へ自然教室に行っていました。その後、井口小学校、大沢台小学校、羽沢小学校が実施しましたが、大きな事故やけががあったという報告はございません。

6月3日に予定されていましたが第六小学校、南浦小学校につきましては、台風6号の影響により延期の判断をし、現在、9月上旬に実施できるよう日程の調整をしているところです。

台風の対応につきましては、5月29日から運用が開始された新たな防災気象情報に基づき、事務局で学校が取るべき基本的な対応を定めております。台風6号の影響を最も受けた6月3日当日は、朝6時の時点で暴風警報等が発表されていなかったため、通常どおりの登校時間で教育活動を行いました。登校時、おおさわ学園におきましては、野川に近い羽沢小学校、第七中学校において、教員が野川の川沿いに立ち、見守りを行うことで子どもたちの安全を図りました。今回の台風の影響による子どもの事故、けがの報告は受け

ておりません。

続いて、春季運動会・体育大会についてです。16日、晴天の中行われた第四中学校の体育大会を皮切りに、23日の中学校6校、30日の第四小学校についても、予定どおり実施することができました。教育委員の皆様におかれましては、ご参加いただきありがとうございました。

16日と30日につきましては、5月としては高い気温の中での実施でしたが、競技と競技の合間に休憩時間を設けたり、水分補給を促すアナウンスをしたりするなど、熱中症対策を講じながら実施していました。

28日の学校風土調査検討会は、三鷹市教育ビジョン2027に掲げた一人ひとりを大切にする学校風土の醸成の推進を目的とした会議体となります。当日は、学識経験者や小・中学校の校長代表、そして教員代表が集まり、学校風土に関する理解を深めました。

行事予定については、次ページ、33ページに載っております。川上郷自然の村での自然教室については、6月8日に第一小学校、北野小学校が行ってまいります。そのほかについては記載のとおりです。

この後、令和7年度三鷹市立小・中一貫教育校全7学園の評価・検証報告については、星野教育施策担当課長よりご報告をさせていただきます。

○松永教育長 では、星野課長、お願いします。

○星野指導課教育施策担当課長 私から令和7年度の三鷹市立小・中一貫教育校評価・検証報告をいたします。

配付しました資料が2種類ありまして、冊子になっているものと、A3判の概要版がございますので、本日はA3判の概要版を用いてご報告いたします。

三鷹市では、学園・学校運営の改善と発展、そして自律的な運営の推進を目指し、コミュニティ・スクール委員会による学校関係者評価を毎年実施しております。本報告は、学園運営や教育活動等の成果を検証し、学校と保護者・地域が協働して絶えず改善につなげるPDCAサイクルを確立するものとなっています。各学園では、この評価・検証結果を基に、成果のあった取組の継続や課題に対する改善方策を令和8年度の教育計画に反映させ、教育活動のさらなる質の向上を図っております。

本日は、全7学園から報告された評価・検証の中から、7つの検証項目ごとに主な成果と今後の課題を抜粋した概要版に沿って詳しく説明をさせていただきます。

まず、大項目Ⅰ、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の推進で、コミュニティ・スクールの運営についてです。当該年度は学園アクションプランの作成や、地域学校協働活動が計画的に実施されました。その結果、学校と地域が協働した教育活動の価値を教員または地域の双方が実感し、学園内での見通しや意識が向上するという成果が見られました。一方で、活動に参加する方が一部に固定化しがちであるという課題があります。今後は、保護者会やCS委員会等の様々な場で予定を早めに周知し、より多くの方が参加しやすい環境づくりを進めてまいります。

続いて、小・中一貫教育校としての教育活動です。

小・小、小・中の児童・生徒の交流が活発に行われ、子どもたちのアンケートでも肯定

的な評価を得ています。また、学園防災フェスティバルなど、地域と連携した取組も充実してまいりました。課題としては、特定の学年の交流にとどまっていることや、乗り入れ授業における時間講師の確保が挙げられます。今後は、引き続き多くの児童・生徒が関わることができる交流の在り方の検討や、地域協力団体等との連携した取組を考えてまいります。

続いて、大項目のⅡ、知・徳・体の調和のとれた三鷹の子どもを育てる教育活動の充実です。Ⅱ－１の（知）確かな学力について、学園研究テーマに基づく授業改善や、ICT機器を活用した個別最適な学び、協働的な学びの実践が進んでおります。これにより児童・生徒が自ら考えて学習に取り組む姿勢が育ち、アンケート結果にも向上が見られています。今後は、生成AIの活用に関する方針やルールを整備、そして課題と成果を明確にした不断の授業改善を学園共通のテーマとして進めてまいります。

続いて、（徳）豊かな人間性においては、多様な人との対話や協働を通じて、他者の考えを尊重しながら自分の意見を表現する姿が多く見られています。仲間との交流を楽しみ、他者尊重の意識が育まれたことで学校生活の安定にもつながっています。引き続き、学年や学校を超えた交流活動を活性化し、人権教育や道徳教育を家庭と連携しながら一層深化をさせてまいります。

続いて、（体）健康・体力では、体力調査結果に基づく各校での計画的な取組により、多くの児童・生徒の体力向上が図られています。また、健康に関わる食育や睡眠改善への意識も高まっています。今後は、各学校の優れた取組を学園内で共有し、学校での指導にとどまらず、家庭での実践に向けた啓発を強化してまいります。

続いて、大項目のⅢ、特色ある教育活動についてです。キャリア・アントレプレナーシップ教育の実践においては、職業のことだけでなく、大人になってからの生き方全般について考えるよい機会となっています。また、学校レガシーの趣旨に基づいた福祉やボランティア活動など、地域や学校で児童・生徒が主体となった活動が実施され、自己有用感や主体性が高まっています。今後は、これらの体験活動を単発で終わらせず、継続的なものとするため9年間を見通した計画のブラッシュアップを図るとともに、子どもたちの主体的な話合いの時間や大人との意見交流の場を意図的に設定してまいります。

続いて、大項目のⅣ、学校教育の質の維持向上を目指した教員の働き方改革についてです。スクールサポートスタッフ等の活躍やDXの推進により、会議におけるオンラインやチャットの活用が進み、移動や会場設営の負担が軽減されるなど、校務の効率化と教育活動の質の向上が見られています。教職員の意識改革も少しずつ進んできております。しかしながら、特定の教員に業務が集中し、長時間勤務者が固定化する傾向や、成果を十分に可視化できていないという課題が残っています。今後は、個別の面談等を通じて具体的な業務配分の見直しを行い、成果の上がった事例を積極的に横展開することで、教職員が子どもたちと向き合う時間をしっかりと確保してまいります。

最後に、今後の取組の3つについてご説明します。

第1に、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実です。全学園で育成を目指す資質・能力を整理し、着実に教育計画へ反映させることができております。小・

中一貫教育導入20周年という大きな節目を機に、これまでの歩みを継承し、三鷹の教育をさらに進化させる取組の強化を推進してまいります。

第2に、自立・自律した学習者の育成に向けた学びの充実です。9年間を通じた学園研究により、児童・生徒が自ら学習に取り組む姿勢が育ってきています。引き続き、課題解決学習や探究的な学習においてデジタル技術も積極的に活用し、指導の充実を図ってまいります。

最後、第3に、学校風土の醸成及び働き方改革の推進についてです。児童・生徒が安全・安心・快適に過ごせる学校風土を醸成するため、学校風土を客観的に把握する調査の実施を検討してまいります。あわせて、業務量管理・健康確保措置実施計画の策定を進め、教員のやりがい向上と質の高い教育活動が両立できる魅力ある学園・学校づくりを目指してまいります。

報告は以上となります。

○松永教育長　　続きまして、地域学校協働課、越課長。

○越地域学校協働課長　　34ページ、実績等のご報告でございます。

15日金曜日に、公立学校PTA連合会の理事総会及び交流・情報交換会が開催されたところでございます。

また、19日火曜日には、家庭教育学級担当者会議ということで、各PTA等の家庭教育学級の担当者に対して事業の説明等を行ったところでございます。

22日金曜日、地域子どもクラブ代表者会議を開催いたしました。こちらは地域子どもクラブの代表者等にお集まりいただきまして、今年度の取組における情報共有等を行ったところでございます。

6月3日水曜日、スクール・コミュニティ推進員連絡会につきましては、台風6号の影響でオンラインでの開催としたところでございます。

そして6月5日金曜日、コミュニティ・スクール委員会の会長・副会長連絡会を開催いたしました。今年度の各学園のコミュニティ・スクール委員会の取組の方向性について、7学園の情報共有等を行ったところでございます。

次のページ、予定等でございます。6月23日火曜日には、みたか子ども避難所情報連絡会ということで、みたか子ども避難所の担当者の方々にご説明をさせていただきます。

また、7月3日金曜日には、公立学校PTA連合会としての学園訪問ということで、今年度は三鷹中央学園に各PTA等の代表の方がお伺いするという予定になっております。

そのほか記載のとおりでございますけれども、本冊とは別に本日配付させていただきました学童保育所入所状況（令和8年度）という1枚物の資料がございますので、こちらについてご報告をさせていただきます。

学童保育所の事務につきましては、昨年度より教育委員会におきまして、市長の補助執行という形で、市長の権限に基づくものではございますけれども、教育委員会事務局で事務を行っておりますので、その状況についてご報告させていただくものでございます。

令和8年度の学童保育所の入所状況についてでございますけれども、まず、各施設名の隣に運用定員がございます。こちら、合計で2,585名の定員となっております。その横、

入所数でございますけれども、5月1日現在で2,408名の入所ということになっております。保留児童数というものがございます。16名の方が今、学童保育所をお待ちいただいている状況となっております。

その上で、右、待機児童数になりますけれども、一番下の欄外に注釈が入っておりますけれども、国の実施状況調査の基準では、待機児童については、他に利用可能な学童保育所が通常の交通手段により20分から30分で通所可能な場所があるにもかかわらず特定の学童を希望するなど、保護者の理由により入所していない児童につきましては、この待機児童の人数から除外するとなっております。こちらの現在保留になっている児童につきましては、保護者に対して空いている近隣の学童保育所の希望についてお伺いをしておりまして、その上で希望される学童保育所でお待ちいただいているという状況となっておりますので、待機児童数の計算からは除外し、国の定義するところでの待機児童数というのはゼロとなっているところでございます。

ちなみに、第四小学校の学童保育所については、運用定員に空き定員があるような形に資料上なっておりますけれども、こちらについては退所のお申出のタイミングと、こちらの5月1日現在というところでのタイミングの問題でございまして、現在、順次繰上げをして入所いただいているという状況でございます。

地域学校協働課からのご報告は以上になります。

○松永教育長　続きまして、立仙図書館長、お願いします。

○立仙三鷹図書館長　36ページ、37ページをござんください。

まず、36ページ、実績報告でございます。

5月10日日曜日に令和8年度第1回目のみたかとしょかん図書部！キックオフミーティングを実施いたしました。6人の中学生が参加をしたところでございます。

また、28日木曜日には、読み聞かせボランティアの入門講座を行いました。こちらも30人近い方のご参加をいただき、大変好評の講座でした。

続きまして、37ページ、今後の予定でございます。

まず、6月11日から18日、市役所の1階の市民ホールにおきまして、「図書館の魅力、まるっと公開～おうちで使える図書館～」としまして、こちらは今年1月に元気創造プラザで行いました展示の第2弾としまして、今回は電子書籍を中心に紹介をしていく予定でございます。また、期間中2日間につきましては、出張での新規の利用登録受付を実施する予定でございます。

続きまして、13日土曜日、わん！だふる読書体験、こちらも大変人気の講座でございまして、現在のところ、応募が5倍といった倍率になっております。今年度も5回ほど実施をする予定でございます。

続きまして、18日には、今年度1回目の図書館協議会の定例会を予定しております。

そして、さらに27日土曜日には、出張ひまわり号in三鷹中央防災公園、こちらも昨年度、本館の臨時カウンター対応中に実施したひまわり号の出張版なんですけれども、今年度も数回実施をする予定で、第1回を6月27日に行う予定でございます。

図書館からは以上となります。

○松永教育長　　続きまして、スポーツと文化部から、平山部長、お願いいたします。

○平山教育部理事　　私から芸術文化課関連の事業についてご報告させていただきます。
38ページをごらんください。

5月8日金曜日ですけれども、第42回太宰治賞選考会がございまして、こがわゆうじろうさんの「タロー・ジ・エンド」に決まったところでございます。同日付けで公表とされているところでございます。

5月13日水曜日ですけれども、アール・ブリュットみたか連携協議会が開催されまして、今年度11月の開催を予定しておりますけれども、子どもたち、小学生等のご参加をより促していきたいというような議論がございましたので、取組を進めていく予定でございます。

次のページになりまして、39ページになります。6月12日金曜日、第42回太宰治賞贈呈式、如水会館で開催されます。ぜひご参加いただければと思っております。

14日の日曜日、第54回三鷹市市民コンサート、芸術文化センターで開催する予定でございます。

下から2番目でございますけれども、7月7日火曜日、星と森と絵本の家開館記念イベントを開催する予定でございます。

私からは以上です。

○松永教育長　　続きまして、八木課長、お願いいたします。

○八木教育部参事　　私からは生涯学習課関連の報告と予定を説明させていただきます。
資料、戻りまして38ページをごらんください。

5月10日日曜日と6月7日日曜日になりますが、生涯学習センターにて、古文書研究フェロシップ「みたかの古文書を読む」を開催したところでございます。合わせまして35人が参加されたというところでございます。

5月18日月曜日ですが、教育センターにて、令和8年度1回目の三鷹市文化財保護審議会を開催したところでございます。令和7年度の文化財事業報告、令和8年度の文化財事業予定などについてご審議いただいたところでございます。

続きまして、5月23日土曜日ですが、大沢の里古民家体験学習「紫草の栽培 移植編」を開催しました。12人が参加されたところでございます。

続きまして、今後の予定でございます。39ページをごらんください。

6月23日火曜日ですが、生涯学習センターにて、令和8年度2回目の三鷹市生涯学習審議会・社会教育委員会議定例会を開催する予定でございます。

続きまして、6月27日土曜日ですが、大沢の里古民家体験学習「七夕飾り作り」を開催する予定でございます。

続きまして、7月4日土曜日ですが、3回にわたり開催します大沢の里古民家体験学習「年中行事フィギュア制作ワークショップ」の1回目を開催する予定でございます。

そのほか記載のとおりでございます。

私からは以上でございます。

○松永教育長　　続きまして、市橋課長、お願いします。

○市橋教育部参事　私からはスポーツ推進課関連の行事についてご報告いたします。
38ページにお戻りください。

5月30日土曜日ですけれども、わんぱく相撲三鷹場所が開催されました。未就学児約50人と小学生約150人の、合わせて200人ほどが参加をされております。当日、元横綱の稀勢の里さんが開会式から閉会式までいらっしやいまして、子どもたちと直接お話しされるなど、競技の魅力ですとか、礼節の大切なところを体験できるという貴重な機会だったかなと考えております。

また、各小学校でのラグビー体験ですとか、スポーツフェスティバルの実行委員会を開催しておりますけれども、引き続き、子どもたちがトップレベルのスポーツ選手に触れながら、主体的に取り組む姿勢ですとか、協調性を育む機会がスポーツを通じて得られたらいいなと考えております。

続きまして、39ページをお開きください。

行事予定になっておりますけれども、まず、6月9日火曜日ですが、第35回三鷹市民駅伝大会の実行委員会を開催したところになっております。

また、実績に続きまして、小学校でのアール・ブリュット体験であるとか、トップアスリートのバレーボール教室等が始まってまいります。引き続き、子どもたちの体力向上ですとか、健やかな成長につながる取組を進めたいと考えております。

スポーツは以上です。

○松永教育長　ありがとうございます。以上で報告は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

松原委員、お願いします。

○松原委員　ありがとうございました。ご説明の中であつたんですけれども、私がよく分かっていないので教えていただきたいという趣旨なんですけど、32ページの指導課の学校風土調査検討会というのはどういったものを行っているのかということについて、もう一度教えていただければよろしいでしょうか。

○松永教育長　星野課長、お願いします。

○星野指導課教育施策担当課長　不登校からのきっかけになるんですが、文部科学省でも、子どもたちの実際の教室にいるときのなかなか見えない居心地のよさなどを把握するツールを活用しながら、指導方法や関わり方を改善していきましょうということが今示されています。教育ビジョンや長期欠席・不登校状況にある児童・生徒の支援の在り方に関する研究会の研究のまとめでも提言されていますけれど、実際にそれを本市として導入するのがいいのかどうかということを含めて検討しているという会になっています。

○松原委員　まだ検討段階という、そういう感じですか。

○星野指導課教育施策担当課長　はい。

○松原委員　ありがとうございました。

○松永教育長　ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

○野村委員　よろしいですか。

○松永教育長　野村委員、お願いします。

○野村委員 指導課の小・中一貫教育校の評価・検証の報告のことについて、3つ確認させてください。こういう評価はすごく大切なんですけれども、受ける側よりもする側がむしろ気を遣うし難しいというのが大抵のものだと思います。その中でよくここまで、ナラティブではありますけれども、各学校、ちゃんといろいろ着目しながら報告ができているなと思います。

その上で、概要版の上のところの3行目ぐらいに、学校と保護者・地域が協働してPDCAサイクル云々と書いてありますけれど、これの報告のフィードバックというのはどなたにされて、そしてどういうふうに使われるかということの確認を一つさせてください。

それから2つ目は、これ、小・中一貫教育校として評価していますよね。個々の中学校や小学校としての評価というのがこれとは別にあるのかどうかということをお教えください。

3番目は、実際に現場で使うには、これで恐らくある程度は分かると思うんですが、さらにもっと進めていくと、相対評価がいいというわけじゃありませんけれども、例えばリーダーチャートのように、自分たちの到達目標をもう少し関係者と共有できるような表現方法、表記方法というんですかね、そういうものの工夫というのは将来的に考えられているかどうか。その3つ、質問と確認をさせていただければと思います。よろしくお願いします。

○松永教育長 星野課長、お願いします。

○星野指導課教育施策担当課長 まず、1点目の共有ですが、まずは各学園でそれぞれ出てきたものを評価していますので、その出てきた評価に基づいて次年度の、計画に反映されているので、そこにはCSの承認を得るという形を取っているので、そこでどういうふうに反映されたかというのがまず学園内で分かるというのが1つと、2点目は、7学園様々な特徴的な取組をやっているので、ぜひよい取組がもし取り入れられるなら横展開をしていったほうがいいということがあるので、例えば学園長会でこういうものを共有して進めていって、参考にしてくださいというようなもので広げています。

○野村委員 分かりました。基本的には、各学園の自己評価に基づいて物事を進めているというところで、今こうやって教育委員会に出てきて、学園以外の目に触れるというところなんでしょうか。あるいは、そういう評価の要素が入る余地というのがあるのでしょうか。これは基本的には自己評価で、自分たちで評価するものですか。

○松永教育長 基本的には学校の自己評価、それももちろん学園もまとめてということもありますけれど、先ほどおっしゃっていたように、各学校自体もきちっと1校ごとの自己評価をしています。それに向けてコミュニティ・スクール委員会は、学校関係者評価という形で、そういったことの評価自体の自己評価の妥当性を見たりとか、また、個別具体的な意見等を反映した形のものがこちらの冊子の形で今出させてもらっているものです。

○野村委員 コミュニティ・スクール委員会がこれについて最後、ちゃんとチェックしているということですね。

○松永教育長 そうですね。学校関係者評価を経てということになります。

○野村委員 その辺がちょっと分からない中で、すみません、質問いたしました。

最後にもう少し、相対評価がいいというわけではありません。レーダーチャートが全部いいというわけではありませんが、もう少し目標や、あるいは自分たちの立ち位置、あるいは外との比較で分かりやすくするために、さらにこの評価の表記方法というものを何か検討されていますか。

○松永教育長 星野課長。

○星野指導課教育施策担当課長 今、各学園の評価部というところでどういような評価をしていくといいんだろうかと知恵を出しながら検討していただいています。先ほど野村委員がおっしゃっていたレーダーチャートでやるという、一目で分かりやすいというのは確かにあるんですけど、取組によって数値等を用いて評価・検証できるものとそうでないものがあるので、表記の仕方については、今後もしっかりと検討していく必要があると考えています。

○野村委員 こういうやり取りが大切なことだと思っていますので、私もそれがすぐにいいなんて言っているわけではありませんが、評価ってさらに進めていく必要がありますし、これがほんとうに使えるようにしていくためには、いろいろな先行事例を含めて取り組んでいくということが大切だと思っているものですから、質問、指摘をさせていただいた次第です。

以上です。

○松永教育長 ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。

三瓶委員、お願いします。

○三瓶委員 小学校の自然教室、今実施していると思うのですが、川上村の熊の発生状況はどんな感じですか。目撃とかされているのか、大丈夫なのか、教えていただければと思います。

○松永教育長 寺田部長。

○寺田教育部調整担当部長 現在のところ、目撃情報などはないです。山の反対側の武蔵野市の施設があるほうには出るといった話もあって、あちらは対策をしていたりしているようです。

○三瓶委員 今年はよくても、来年もしかして山を登ってきちゃうという可能性もなきにしもあらずですか。

○寺田教育部調整担当部長 その様子は現地でも注視をしています。

○三瓶委員 今年は全然熊なんかいそうにないようなところで熊が目撃されているのが怖いなと思っています。

○松永教育長 市街地とかで目撃されていますからね。

○寺田教育部調整担当部長 現地では猟友会が見回り、巡回などをしたりとかしているそうで、目撃情報などは今のところ報告されていないそうです。

○三瓶委員 分かりました。

○松永教育長 猟友会の方に回っていただいて、今のところ熊の形跡、来たという形跡等はないとは、この間、川上村に行ってまいりましたけれども、そのような形でお話は伺いました。ただ、油断できることではありませんので、きちんとどう対応していくのかと

いったことも含めて、いろいろな配備もしながら今進めているという、そんな段階ですかね。

○三瓶委員 分かりました。

○松永教育長 よろしいでしょうか。

○三瓶委員 はい。

○松永教育長 ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

私から、1つ質問してもいいですか。先ほど、「みたかの古文書を読む」といったところで、古文書研究フェローシップということでやられているんですけど、どのレベルの取組をされているのでしょうか。

八木課長、お願いします。

○八木教育部参事 こちらにつきましては、生涯学習センターで「みたかの古文書を読む」という講座がございまして、中級、今年度は上級とやっているんですけども、その卒業生が自主的に参加をいただきまして、古文書を引き続き研究しているというような状況でございます。

○松永教育長 なるほど。一旦、生涯学習講座のステップアップした方々という形なんですね。

○八木教育部参事 そうでございます。

○松永教育長 分かりました。ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、日程第4 教育長報告を終わります。

○松永教育長 以上をもちまして、令和8年第6回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後 2時56分 閉会

以上会議の顛末を書きその相違ない
ことを証するためにここに署名する

令和8年6月8日

三鷹市教育委員会教育長

三鷹市教育委員会委員